

長野県革新懇ニュース

2022年9月号
発行日9月10日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971

279

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 唐鎌直義さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」桂木恵さん
- 3面 身近にある統一教会、杉尾ひでやさんと語る会
読者の声、漢字パズル
- 4面 雨よ降れ「天才」と「凡才」 窪島誠一郎さん
民家の軒先に残る奉安殿 北原高子さん
映画評論『DARK WATERS』内山到さん

長野県革新懇

検索



1952年群馬県館林市生まれ。長野大学産業社会学部助教授、大正大学人間学部教授、専修大学経済学部教授、立命館大学産業社会学部教授を歴任し、現職。研究分野は社会保障の日英比較、国民生活研究。

社会保障の拡充は強い経済をつくる

唐鎌直義さん

(佐久大学特任教授)

社会保障をめぐって 国民間に対立をつくる

Q 社会保障に対する現政権の姿勢をどうお考えですか？

現在の社会保障の水準は、私が研究を始めた頃と比べても大幅に縮小されています。象徴的なのは、菅首相が所信表明の際に「自助・共助が優先で公助は最後だ」と述べたことですが、岸田政権も同じ位置づけだと思えます。現在、全国で年金減額違憲訴訟が行われていて、私も地裁の証言に立ちましたが、被告の国は、年金が低い人は自分で働いて不足分を補えるはずだとあからさまに言っています。国は高齢者の生活を自己責任が重くなっている、つまり、生活を保障する国の役割が小さくなって

社会保障は労働者を強くする

Q 国民にとっての社会保障の意義をお話ください。

最終的には生活保護があるから良いのではないかと、かといふことになっていきます。しかし、日本の生活保護はとて受けるに値しないもの、国民が安心して暮らすにはありません。岸田政権が推し進めているのは、今の社会保障は高齢者優遇型なので、現役世代が不公平に扱われている、だから全世代型にする必要があるという方針です。しかしその具体策は、奨学金の貸与や児童手当の所得制限などのわずかな改善でお茶を濁す程度です。一方で、高齢者の社会保障をあらかじめ削減していかうとしていきます。つまり社会保障をめぐって国民間に利害対立の構図をつくり、全体として給付水準を引き下げていくことが大きな狙いだと思えます。

きていて、最終的には生活保護があるから良いのではないかと、かといふことになっていきます。しかし、日本の生活保護はとて受けるに値しないもの、国民が安心して暮らすにはありません。岸田政権が推し進めているのは、今の社会保障は高齢者優遇型なので、現役世代が不公平に扱われている、だから全世代型にする必要があるという方針です。しかしその具体策は、奨学金の貸与や児童手当の所得制限などのわずかな改善でお茶を濁す程度です。一方で、高齢者の社会保障をあらかじめ削減していかうとしていきます。つまり社会保障をめぐって国民間に利害対立の構図をつくり、全体として給付水準を引き下げていくことが大きな狙いだと思えます。

福祉国家は社会発展の一段階

Q 社会保障を軸とした福祉国家のあり方についてのほどよいお考えですか？

実は、福祉国家という言葉に対してはよくアレルギーを持っている人がいます。それはマルクス主義の伝統によるもので、きわめて単純化して言うと、資本主義を打倒し、社会主義を実現して自分たちの国をつくるのだという考えです。その立場からすると、福祉国家というのは単なる改良主義、修正主義であり、労働者を騙す議論だということになるわけです。私も大学生の時にそのように教わりました。

横断的な共闘の基盤をつくるべき

Q 社会保障をめぐる運動のあり方についてはいかがですか？

日本の場合には、社会保障の運動が分野別に縦割りになっていて、横断的な共闘というのがなかなかつくりきれないですね。お互いの共闘の基盤がなかなかできない。しかし、アダムスミスが『道徳感情論』の中で論じているように、本来人間というのは共感(同情)できるといって、とても大切な能力を持っているわけです。その意味では、社会保障運動においても、たとえば道府県社協や地域社協が自治体キャラバンなどを通じて、国保や介護などの幅広いジャンルで共同の運動をもっともつと積み上げていければ良いと思っています。

所得依存型の構造が社会保障を弱めた

Q 西欧に比べ日本人の社会保障に対する意識が低いのはなぜでしょうか？

しかし、今はそういう時代ではなく生きてきていると思えます。今を生きている人の問題は、仮に100年後に社会主義が誕生するとしても解決されないわけです。長期的な展望としては、民主的で福祉がきちんとした国家をつくるべく、この路線の上により高次の国家ができることを考えています。そのことを抜きにしていきなり社会主義とか言っても仕方がないです。だから私は福祉国家という言葉を取って民主主義を高める、労働者を強くするという意味で大切な言葉だと思いい、意識的に使っています。